

# 2023 年度なんば駅周辺空間再編に向けたコンサルタント業務 目次

1. 全体進捗管理
2. 交通再編後の交通・荷捌き維持管理の検討
3. 広場運営計画の策定
4. 外部評価委員会の運営支援
5. なんさん通り南北部会他の運営サポート
6. 会議運営支援、ニュース作成等

## 1. 全体企画・進捗管理

### 1-1 スケジュールの進捗管理

2023年11月23日の広場開業に向けて、広場の利活用のルール・地域環境保全活動の官民役割分担について、幹事会内で議論を行って決定した方針を大阪市・警察・その他関係者との調整を行い、実施内容の合意を行い、実施に向けた具体的な調整を行った。

広場開業以降は、利活用実施に向けた警察協議、関係機関協議、利活用希望者との調整などのサポートを行った。

収益事業の開始にむけて、12月に広告幹事事業者公募を実施し、1月に広告幹事事業者を決定した。

また、2月には広場開業後の検証状況を反映し、常設化に向けたステップ案を大阪市に提示するとともに、常設化にむけた具体的な道路管理者協議を開始した。

#### ■主なトピックスケジュール

日程	項目
9月29日(金)	社会実験に関する覚書締結 (南海電鉄(準備委員会の代表)⇔大阪市計画調整局) ※大阪市の社会実験のパートナーとして協議会・準備委員会が初めて位置付けられた。
10月13日(金)	大阪市長記者会見—広場開業について発表
10月26日(木)	大阪市ミナミエリアの放置自転車のリアルタイム撤去スタート
11月15日(水)	協定締結(南海電鉄(準備委員会の代表)⇔大阪市計画調整局) ※社会実験の官民役割分担、区域、維持管理・運営、収益還元、道路占用・使用の権利など
11月15日(水)	なんさん南北通り建築協定認可
11月23日(木)	広場開業／オープニングセレモニー実施
12月8日(金)	広告事業者公募開始
1月19日(金)	椅子・機の設置開始(第1フェーズ) ※撤去日:2月15日(木)9:30頃
3月4日(月)	契約締結(南海電鉄(準備委員会の代表)⇔広告事業者)
3月19日(火)	喫煙所完成
3月22日(金)	マルイ新出入口完成
3月27日(水)	椅子・機の設置開始(第2フェーズ)

## 1-2 関与者との調整

準備委員会・協議会の構成員、地元荷捌き関係者、大阪市建設局・計画調整局、設計チーム（交通・ランドスケープ・照明・施工）、喫煙所関係者、なんさん通り南北部会建築協定関係者、御堂筋関係者、学識者、国土交通省などのステークホルダー・関係者と協議を重ね、プロジェクト全体を推進した。

地域環境保全に関わる清掃、警備、自転車、交通コンサルや、利活用に関わる企画実施希望者、道路管理者、屋外広告物担当者、広告幹事事業者、警察、地元団体などの協議を行った。

特に、警察協議のサポートを実施した。開業前は、社会実験の趣旨説明、受入基準・受入ルールの合意を行い、開業後は実施企画・憩いの空間の創出についての各種警察協議のサポートを行った。

また、2018年から検討を始めていた、なんさん南北通り建築協定について、大阪市との調整や関係地権者の合意を経て、11月15日に認可された。

## 2. 持続的広場運営内容のためのシナリオ・検証項目の設定・検証

### 2-1 地域環境保全

#### ●清掃・警備・自転車対策

2023年11月のオープンに向けて地域環境保全活動を①清掃、②治安維持、③自転車対策（放置自転車対策・押し歩きの周知徹底）の3項目に分類し、各項目に対して、現状の官民の実施事項の整理、広場完成後の方針・官民役割分担案・検証項目の作成を行い、社会実験期間の実施事項について官民で合意した。

社会実験開始後は、警備会社と随時意見交換を実施している。

#### ●道路の適正利用(道路使用許可の調整)

従前より、なんば駅周辺で実施されていた道路使用許可行為(チラシ配り、募金活動など)の既存ルールを整理する共に、広場の質の高い空間の実現に向け利活用区域以外での道路使用許可行為受入の調整方針について、警察協議を行い、合意を得た。

警察協議で合意した内容について、調整のお願いチラシの作成と共に、WEBサイトに掲載する受入フォームの作成を行った。

#### ●選挙期間中の考え方の整理

選挙期間中における、選挙活動等の受入方針について警察との調整を開始した。

## 2-2 利活用

### ●全体像

広場の目指す姿を実現し、エリアの価値を高めるための取組みとして、質の高い日常の憩い空間の創出と広場における企画受入を行った。広場空間の活用については、広場空間の活用については、「なんば広場使用ルール」を作成し、関係者と協議を行い、WEB サイト上で公開し、企画受け入れを開始した。

### ●憩い空間の創出

憩い空間の創出として、警察協議を実施した上で、可動式の机・椅子の設置を行った。設置時期は、警備員の検証ステップに分けて、第1フェーズ(1/19～2/15)、第2フェーズ(3/27～5月末)で設置している。第1フェーズ終了後は、利用率調査や地域環境保全への影響などの検証結果をまとめた。第2フェーズの途中より、質の高い椅子・机を設置できるように新たに設置する机・椅子を提案し、購入を行った。

また、机・椅子の設置と合わせてプリンターの設置を行い、管理運営社会実験の概要の説明、広場の禁止行為の明示を行った。

### ●回遊性勉強会への参加

回遊性勉強会に参加し、なんば広場開業前後の効果等について意見交換を行った。

### ●イベント受入

2023年度は10件のイベント受入を行い、企画実施者との調整・警察協議等のサポートを行った。

### ●スポット利用

スポット利用(小規模の音楽演奏の実施やパフォーマンス等)について、他都市事例の整理となんば広場におけるルール(案)を作成して実施した警察協議において、スポット利用受入時(演奏時)は音量等の管理のため広場管理者の立ち合いが必須という指摘を受けた。広場管理運営者が常時立ち会うことは現実的ではないため、2023年度は受入を行っていない。2024年度、実施に向けた検討の再開を行う。

### ●マルイしみだし

マルイ新規入口完成後のマルイしみ出しの活用について方針検討をスタートした。

### ●広場での飲食利用

自治会や商店街の一部より広場での飲食利用への反対意見があり、話し合いを行うとともに、地元若手事業者による構成されるミナミ会と意見交換をするなど、対応を行った。結果として、イベント利用は実施可能、常設設置は反対との要望を受けることとなった。

## 2-3 財源確保(収益事業)

### ●広告事業

広告幹事事業者を選定するプロポーザルを実施した。広告事業者に求める業務内容(仕様書)の整理、プロポーザル要項の作成、候補会社の抽出、などを行った。プロポーザル実施に当たっては、事前説明会の開催を行った。プロポーザルの結果、優先交渉事業者を「(株)cyujo」に決定した。決定後、優先交渉事業者と契約を行い、イベント受入時の役割分担の調整や広告事業実施に向けた具体的な調整を進めている。

#### ■説明会

①2023年11月10日(金) 10社参加

②2023年11月15日(水) 11社参加

#### ■プロポーザル

募集期間：2023年12月8日(金)～2024年1月16日(火)

応募者数：6社

#### ▶資料：〔説明会資料〕

なんば駅周辺における空間再編推進事業説明資料

なんば広場社会実験期間における広告事業者公募説明会資料

なんば広場広告事業事前説明会における質疑回答

〔プロポーザル資料〕

なんば広場運営社会実験における広告販売管理等業務 プロポーザル実施要項

なんば広場運営社会実験における広告販売管理等業務\_提出様式一覧

なんば広場広告事業者公募 質問回答

〔優先交渉事業者決定後の資料〕

広告幹事事業者とイベント受入時の役割分担

### 2-4 広場運営におけるガイドライン(案)の策定

#### ●全体ルール

全国の広場の事例や幹事会での意見交換を踏まえて、大阪市・警察協議の回数や期間を勘案して、使用ルール案を策定した。

また、社会実験開始から2月末のイベント受入の実情に合わせて、3月末に一部受入フロー・維持管理協力金の受け取り方式（二段階選抜をやめ3か月前先着順に変更、協力金の着手金の徴収）を変更した。

#### ●警察協議資料作成マニュアルの作成

警察協議を円滑に実施するために、オープニングセレモニー、リバーフェスタの警察協議での指摘事項を反映し、警察協議の資料作成のポイントマニュアルを作成した。

### 3. 社会実験の推進支援

開業前の警察協議においては、当初、広場での企画実施は公益性の高い企画（行政関連企画など）のみ認めるという警察の方針であったが、警察協議の中で、①常設を見据えて地域に収益を還元していく検証であるという社会実験の意義、②大阪市が道路使用申請の申請者になること、③受入基準を設定すること、③なんば広場プロジェクトの経緯や趣旨を理解して頂くことで、受入基準を満たす企画の実施することについて一定の理解を得た。

社会実験開始後は、利活用のための警察協議、道路管理者協議のサポートの他、企画実施希望者との調整のサポートや地域環境保全の実施内容の調整(警備会社との調整等)を行った。

## 4. 事業計画を持続的に成立させる法制度上の課題整理と対応

### 4-1 維持管理に関する官民連携の制度適用に向けた検討と官民協議

### 4-2 多様な行催事と事業が可能となる包括占用の検討と官民協議

社会実験の実施状況を踏まえて、下記項目について管理者協議を開始した。下記方針にて2024年度以降、具体的な検討を進めていく。

#### ● 適応制度について

道路協力団体、ほこみち制度、道路占用特例制度の比較、道路協力団体とほこみちの併用による課題、占用料免除を実現できる方法、柔軟な利活用を実現できる方法などについて道路管理者協議を行った。事業者の役割（維持管理、にぎわいの方針等）の記載、占用部分のみでなく周辺エリアも含む維持管理や活性化のロジック、事業収支についての対外的公表や収益の公共・地域還元ルールの必要性などについて議論を行った。ほこみち制度(非公募)+大阪市⇄準備委員会の協定により、占用料の免除を行うことも含めて検討を継続していく方針となった。

#### ● 包括占有について

柔軟な日常時の机・椅子の占用方法について、面占有、包括的占有、個別占有の比較検討を行った。広場全面の面占有を行うと、維持管理やトラブル対応も含めてすべて広場管理運営者が行うことになり、広場管理運営者の負担が大きくなるため、机&椅子のセットで小さい面占有を複数行う包括的占有での可能性を検討する。

#### ● イベント時の活用について

イベントについての予約や使用の優先権を占有主体にどのように与えるかについて検討を行った。非公募でほこみち事業者を決定した場合は、現状は、7日以内の道路使用届をほこみち事業者のみに限定することが困難である。また、8日以上の場合、占有箇所外の他団体の占有を妨げることは難しい。ほこみち事業者のみに限定するためには、市と地元運営主体の協定に明記する、利便増進計画の提出を求める、などの方法を継続検討する。

#### ● 常設化に向けたステップの提案

社会実験の検証状況や民間の社内合意等にかかる期間を踏まえて、2024年2月に常設化に向けたステップの提示を行い、大阪市と意見交換・幹事会での意見交換を行った。

### 4-3 広場整備後の景観形成及び屋外広告物の地域ルール検討と官民協議

広告事業の開始に向けて、既存ルールの整理を行った。  
2024年度より、広告幹事事業者の提案により、①デジタルサイネージの設置、②バナー広告の実施を検討しており、道路管理者と屋外広告物担当と具体的な協議を開始した。

#### ● 現在の協議状況

##### ① デジタルサイネージ

- ・大阪市内規のガイドラインのルールを最低限満たす必要がある。
- ・道路上に民間のデジタルサイネージの設置することははじめての事例のため、実施方針については管理課内で引き続き検討を行う。

##### ② バナー広告

- ・屋外広告物条例第7条の3を適応し実施する。
- ・行政が設置するバナー広告との優先順位の考え方の整理が必要

## 5. 広場で実施される取組の情報発信サポート

### ●市長会見資料への協力

10月13日に実施された市長会見での資料提供を行った。

### ●WEBサイトの更新

WEBサイトの更新を3回実施した。

①広場開業に向けたプレスリリース時

—問い合わせ窓口の設置・利活用ルールの提示

②広告幹事事業者公募事業の開始

—公募要項の掲載、質問回答の掲載

③広告幹事事業者公募結果の公表＋道理使用許可ルール掲載

—公募結果の掲載、道路使用許可問い合わせフォームの掲載、TOP画像の変更等

### ●ほこみちインスパイアフォーラム 2023 への参加

ほこみちインスパイアフォーラム 2023（2023年11月30日開催：国土交通省主催）にて、なんば広場の生放送現地案内を行った。

### ●視察の有料化・受け入れ

他都市の視察費用等を調査し、視察受入の費用の提案を行い、2024年1月より、視察受入を有料化した。また、視察有料化にあたり、説明資料の作成を行った。

※視察対応数 8回（内、有料受入 4回、171,600円）

### ●自主事業：なんばるラボの企画・開催

なんば広場が今後担っていきたい役割やテーマについて、全国の実践者の方々をゲストとして迎え、意見交換していくことで、なんば広場の方向性を再確認するとともに、なんば広場を共に育てる仲間を広げていくことを目的とした「なんばるラボ」を開始した。なんばるラボの第1回は馬場正尊さん（openA 代表）をゲストに迎えて「なんば広場はリアルメディアになれるのか！？」を開催し、一般来場者22名が参加した。

## **6. 準備委員会幹事会及び協議会の運営支援**

### **6-1 会議運営支援**

会議 240 回に出席し、資料作成を行った。

- 協議会 : 3 回
- 役員会 : 4 回
- 幹事会 : 43 回
- 未来会議 : 3 回
- その他会議 : 187 回

### **6-2 ニュース・資料作成**

協議会の会員にむけたニュース、説明会などの資料作成を行った。